

すわ学びの曳行

本年度2回の開催を予定していた委員会による研究発表「すわ学びの曳行」ですが、1回目9月7日(火)は新型コロナウイルス感染レベルが高く、算数・数学委員会の発表を中止とさせていただきました。発表の準備を進めていた委員の皆さん、参加予定だった会員の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。2回目は感染状況も落ち着き、大勢の会員の皆さんにご参加いただき無事開催することができました。



情報教育委員会・情報管理委員会 11月19日(金)



「GIGAスクール構想の実現にむけた

タブレット等のICT機器の利用」

一人1台配備されたタブレット端末等ICT機器を、授業の中で活用するツールとしてどのような場面で使うと効果的なのか、個別学習、協働学習、遠隔学習の3つの学習形態に分けて、各校での実践事例を元に発表していただきました。

【参加者の感想】

- ・現在2年生を担当しており、タブレットの使用に少し行き詰っていました。本日立用についての発表を聴き、1年生が当たり前前に使用している姿を見て、自分自身もさらに活用方法について勉強していかなければと思いました。フォームスの活用方法を一から見せていただき、とても分かりやすかったです。
- ・まだまだ知らない便利な機能があるのだなあといろいろ教えていただきありがたかったです。情報モラルについても学校全体でルールを統一しなければならぬと思っていたので良いヒントをいただきました。
- ・情報モラルの話について「繰り返しの指導」が必要だと感じました。また、同時に、中学生であれば自分たちでルールを決めること(自治自律)が大切で、例えば生徒会で特別委員会を組織してつくっていく、みんなで決議する、というのもよいかと思えます。
- ・個別学習、授業配信、遠隔授業、情報モラルとたくさんの情報をいただきありがたかったです。手軽に活用できそうなロイロノート等からやってみたいです。もっと使用頻度を増やしていきたいです。
- ・Googleを使ったアンケートやその分析がとても分かりやすく、ぜひ実践していきたいと思えます。
- ・ロイロノート、スタディノート、フォームスの活用事例などもっと一から知りたいと思えるような発表でした。今日発表していただいたことを詳しく教えてもらえるような研修があると嬉しいし、もっと活用が広がっていくと思えます。
- ・ICT機器の具体的な使用実践を発表していただいたことで、「自分のあの授業に活かそう！」と思う場面が多くありました。自分たちの学校のGIGA端末に入っていないものもありますが、近いものはあるので、それを授業に活用する方法を考えるよききっかけになりました。

諏訪の子どもや教育を語る会

11月13日(土)

本来なら、PTA や諸団体の皆様、地域の一般参加の皆様等、様々な立場の方が参集し諏訪の子どもや教育について語り合う会ですが、コロナ禍により、教職員のみでの開催となりました。始めに池田教育会長より基調提案があり、その後6つの分散会にて各校からの話題提供・自由討論を行いました。

分散会	「あやめギャラリーの取り組み - コロナ禍における作品を通じた地域との交流」	岡谷田中小学校
分散会	「地域との連携・コミュニティースクールの取り組み」	豊田小学校
分散会	「地域と連携した教育活動、学校行事」	泉野小学校
分散会	「コミュニティースクールの取り組み」	金沢小学校
分散会	「地域との連携・福祉交流の取り組み」	下諏訪社中学校
分散会	「学力向上に向けた家庭教育・学習のあり方」	諏訪西中学校



【参加者の感想】

コロナ前の学校を知っているのは3年生だけで、今後学校として何を変え、何を残すか考える大事な時期だと再認識しました。

前年踏襲という考え方から、コロナ禍の中で学びの目的をはっきりさせるという原点に立ち返ることができた。やらされている学びから自ら課題を持ち、今ならではのリモート交流という形で双方向の交流に取り組めたこと素晴らしかった。

教師が宿題を出す意図やねらいなど、教師自身の姿勢が大切であると思いました。また授業とのリンクの取り組みについて考えたいと思いました。

各校の特色あるコミュニティースクールの取り組みを知ることができた。地域とともに歩む学校づくりに生かしていきたい。

学校を支援するサポーターさんとの育てたい子どもの姿を共有することで授業づくりの展開をされている取り組み素晴らしいと思いました。



地域素材は歴史の継承だけでなく、新しいものを積極的に取り入れ、変化し続けることに継続のヒントがあると思います。それが子ども達の育ちに繋がると思います。

地域と学校がしていただくだけの一方通行の関係だけでなく双方向の関係になっていくことが可能なことを学んだ。無理なく行える関係がコロナ禍では逆にチャンスかとも思います。

他校の実践を知ることで、自分自身のモチベーションの高まりに繋がりました。多くのアイデアを交換する中で自分の引き出しが増え、様々なアプローチの方法で総合に取り組もうと意欲が高まりました。

子ども達が目で見、触って、実感して学べるにはどうしたらいいかを工夫し、子ども達が将来学校や地域を誇れるような学びに繋がると素敵だと思います。

やはり、人と人との関わり、顔を合わせたの関わりはコロナ禍を通して欠かせないと思いました。その人の立ち振る舞い、息づかい、言葉使い、表情、感じられる場を大切にしていきたいです。



第69回 諏訪郡市 教職員バスケットボール大会 2年ぶり開催へ！

期日 令和4年2月5日(土)



昨年度は残念ながら中止となってしまった教職員バスケットボール大会。本年度は何とか開催できるよう計画が進んでいます。コロナ禍ではありますが感染予防や対策を十分にし、「練習や試合を通して学校内の団結と、学校間の親睦を深める」大会にしていきたいと思います。

開催方法は検討中・・・申し込みは後日

開催方法(会場・チーム編成を含む)については、会員の皆さんからご意見をいただき検討しております。決まり次第お伝えし、その後参加申し込みになります。また、1月13日(木)に主将会議を行います。

例年行っていた技術講習会は中止します。

諏訪地区児童生徒絵画作品展

教育博物館で開催中 お立ち寄りください

諏訪教育博物館では、11月22日(月)より諏訪地区児童生徒絵画作品展を開催しています。諏訪の子どもたちのみずみずしい感性を伝えてくれる数々の作品が、来館される方々を迎えてくれます。教育会館へ会議で来館された折りなどに、ぜひお立ち寄りください。



【子どもたちの個性が光る絵画展】

<教育博物館からのお知らせ>

12月18日(土)に博物館委員による土曜開館が行われます。時間は10時から16時まで。お近くにお出かけの時はご来館ください。

12月11日(土)からすわっチャオにて「長野県児童生徒美術展」が開催されています。こちらも多くの入選作品が展示されています。

12月24日(金)までです。ご覧ください。



「教育博物館所蔵 植物標本目録」

所蔵標本数は約2万6千点

～ 30年の時を経て、今 発刊 ～

諏訪教育博物館で所蔵されている植物標本目録が、植物委員会の先生方をはじめ多くの先生方のご協力によって11月に発刊となりました。

一口に2万6千点と言っても、標本ひとつひとつを、保管されている棚の番号とともに確認し一覧表にしていく作業は考えただけでその大変さが想像されます。30年という長い月日を経て、上下巻2冊にまとめられた植物標本目録。この中には、諏訪教育会で作成に関わってくださった先生方の植

物に対する深い探究心と研究への熱意があふれています。

長年に渡る諏訪教育会の活動で培われてきた高い専門性をこれからも皆で求めていきたいものです。



【明治の植物標本が保管されている棚】

